

コロナ関連健康被害

皆さまお元気だったでしょうか？連載中断前もコロナ対策でしたが、あれから半年、新しい知見も含めて再開号もまずはコロナのお話しから。

全国的な新型コロナの流行が続き、当地区でも罹患者数は三桁。これだけ患者数が増えても小児の報告例は少なく、重症化は極めてマレで、安静のみで治ることがほとんどです。また、学校再開後も中学校以下でのクラスター発生報告もマレです。騒いだりはしゃいだりと容易に想像される環境で、インフルエンザは毎年流行しても、コロナは流行しない。(乳児をのぞく)子供においてコロナ感染は「心配いらない」と言ってよさそうです。もし世界中の人がみんな 20 才以下なら、新型コロナはただの「かぜ」でニュースにもならないでしょう。

こと子供に関する限りコロナが直接及ぼす影響よりもコロナ関連健康被害の方が遥かに問題となっています。コロナ関連健康被害とは、休校に伴う学ぶ機会の喪失、親の失業などに伴う「子供の貧困」の悪化、乳児健診、予防接種の受診控えによる健康被害、などです。歌えない音楽の授業、可哀想だなと思います。

子供達のコロナ関連健康被害を防ぐため、

- ① 外遊びの励行（屋外での感染のリスクは低いです、お外でのびのび遊びましょう）。
 - ② 健診・予防接種を欠かさず（コロナが怖くてはしかになったでは本末転倒です、健診・予防接種は欠かさず受けましょう）
 - ③ 思いやりの心（コロナは病気以外に不安と差別を伝染させます。病気の人を恐れ差別するのでは無く、お大事にの心を広げましょう。大人がお手本です）
- コロナの流行は必ず終息します、いわば終わりのみえた戦いです。高齢者、持病のある方以外の重症化率も高くありません。過度な不安を持たず、みんなでのりきる助け合いの心、ONE TEAM でいきましょう。